

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 30号

2012/12/25 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き： 投機筋の精算売りなどで今週は大幅下落。

①週最高：LDN 市場£1,532 / NY 市場\$2,425 (共に12月17日) 先週比 LDN- £15 / NY - \$16
②週最低：LDN 市場£1,469 / NY 市場\$2,312 (共に12月21日) 先週比 LDN- £50 / NY - \$62
週内差額 (①-②)：LDN 市場£63 (約4.1%幅) / NY 市場\$113 (約4.7%幅)

【12月17日(月)】LDN, NY両市場とも下落

コートジボワールの一部で雨が降り、カカオ豆の生育見通しが改善していることを背景に、両市場ともに下落した。投機筋が買い持ちを縮小させていることも圧迫要因となった。

ニューヨーク市場の3月きりは10ドル(0.4%)安の**2425ドル**、ロンドン市場の3月きりは13ポンド(0.8%)安の**1532ポンド**で終了した。ただ農家やアナリストらによると、コートジボワールの産地ではわか雨が降った地域がある一方で、乾燥し暑い天候となっている地域もあるという

【12月18日(火)】続落、狭いレンジ内での推移 LDN、NY ココア

ココア先物は、狭いレンジ内で推移した後、続落して終了。クリスマス休暇を控え、商いは低調だった。ロンドン市場の3月きりは、21ポンド(1.4%)安の**1511ポンド**で引けた。

ディーラーらによると、ロンドン、ニューヨーク市場とも、狭いレンジ内での値動きとなり、テクニカル的にも方向感に乏しかったという。

ニューヨーク市場の3月きりは、28ドル(1.2%)安の**2397ドル**で引けた。(ロイターES時事)

【12月19日(水)】両市場とも大幅続落

両市場とも続落した。投機筋の清算売りなどが背景。

ロンドン市場は大商いとなり、5月きりは一時、1490ポンドと、7月半ば以来の5カ月ぶり安値を付けた。終値は27ポンド(1.8%)安の**1492ポンド**。ディーラーらは、1515~1510ポンド前後でロングポジションの清算売りが引き起こされたとしている。

中心限月3月きりは27ポンド安の**1484ポンド**で引けた。

ニューヨーク市場のココア相場も圧迫され、3月きりは39ドル(1.6%)安の**2358ドル**と、1

1月9日以来の安値で終了した

【12月20日（木）】LDN, NY 両市場とも続落＝一時数カ月ぶり安値

両市場とも続落し、数カ月ぶりの安値を付けた。テクニカルな売りや年末を控えた手じまい売りに圧迫された。

ロンドン市場の5月きりは一時1466ポンドまで下落し、2番ぎりとしては5月31日以来の安値を付けた後、12ポンド安の1480ポンドで終了した。中心限月3月きりは13ポンド安の1471ポンドで引けた。

ニューヨーク市場の3月きりは一時5カ月ぶりの安値の2311ドルまで下落し、前日終値比30ドル（1.3%）安の2328ドルで終了した

【12月21日（金）】両市場とも続落

ニューヨーク市場の3月きりは続落し、16ドル（0.7%）安の**2312ドル**で終了。ロンドン市場3月きりも3ポンド続落し**1469ポンド**。5月きりも続落し、3ポンド（0.2%）安の1477ポンドで引けた。

2, アジアココアバター市況：レシオは3年間で最も高い水準を維持。パウダーは低調(12/20)

アジア市場のココアバターは、欧州市場のココアバターの供給不足を背景に3年ぶりの高いレシオで現在推移している。しかし、一方でいくつかの磨砕業者は需要の高いココアバターの在庫を需要の低いココアパウダーを顧客に買ってもらうための為の材料として所有しているとシンガポールのディーラーが説明した。

今週ココアバターのレシオは変わらず、2013年1月-3月荷渡しの条件でロンドンの先物市場価格に対して、1.90で、アジア市場以上に価格が高騰している欧州市場の2.03レシオよりはまだ低い。

『ある人々は、このレベルのレシオは2013年の1月まで継続すると予測している。しかし現在、カカオ原料市場は既に多くの人々が休暇シーズンに入っており、とても静かな状況。いくつか1.88レシオでのビットがあった』とマレーシアのディーラーは話す。

『しかし、我々はあまりココアバターの販売に積極的ではない、なぜなら、先にココアパウダーの販売を決めたいからだ。我々は出来るだけ、ココアバターとココアパウダーを同時に販売する“コンボ”での販売を行おうとしている。どちらかだけで販売するのは市場価格が別々で動く以上リスクが高いからだ』

“コンボ”もしくは“コンビネーションディール”では磨砕業者は、ココアバターもしくはココアパウダーどちらかの在庫だけが積み上がるのを防ぐために、2つの商品をセットで販売する。磨砕業者はココアバターを市場価格よりは低い価格で固定するのを条件に、バイヤーは、もう片方の商品であるカカオパウダーについても購入する。

ココアパウダーは現在1トン当たり\$3,000～\$3,300で提示されており、2週間前から変化はない、また売買の報告もあまりない状態が続いている。

3、コートジボワール産カカオの集荷数量合計が 48 万 8 千トン。昨年対比で減少(12/17)

コートジボワールの港湾へのカカオ豆の着荷数量が 10 月のシーズン開始より 12 月 16 日現在までで 48 万 8 千トンとなったことが輸出業者筋の統計によって判明した。昨年同時期での着荷数量は 57 万 8,368 トンからは減少となった。

輸出業者によると、12 月 10 日～16 日までの 1 週間でアビジャン港とサンペドロ港に合計で 6 万 3 千トンのカカオ豆が納品された。昨年の同時期の 1 週間では 6 万 8,515 トンであったことから、週間単位でも減少となった。

4、ガーナのカカオ集荷数量は 34 万 7,043 トンに。昨年対比で 22.7%減少のペース(12/17)

ガーナは今シーズンのカカオの買付け数量が 12 月 6 日までの時点で 34 万 7,043 トンとなり、昨年の同時期までと比較し、22.7%の減少となっていることが、ガーナココボードの発表で判明した。

10 月 12 日に開始した今シーズンの 8 週目となる 1 週間での集荷数量は 31,333 トンで、昨年同時期の 36,360 トンとほぼ同じ数量であった。

ガーナは、現在世界第 2 位のカカオ生産国で今シーズンは 80 万トンの年間収穫数量になるだろうと予測している。

5、ブラジルのカカオ着荷数量、前年対比で 30%増加。(12/19)

ブラジルの主要なカカオの生産地域からと輸入による今シーズのカカオの港湾倉庫への着荷数量の合計（5 月 1 日～12 月 16 日の期間）が前年対比で 30%の増加となっていることがバリア州商業組合の統計により判明した。

バイア州のココアアナリストのトーマス・ハートマンによると、バリア州の倉庫へのデリバリーは先週急激に増加したという。

ブラジルの倉庫は今シーズンは予想外に多いミッドクロップの影響で、ミッドクロップ以降は在庫スペースの不足が続いており、これにより新規のカカオ豆の買付け数量は制限されていたが、更に多いデリバリーが続いていたこともあり、倉庫内の在庫が一度出荷され、再度倉庫への受け入れがようやく可能になった状態だ。

ブラジル 2012/13 シーズン 着荷数量 (5/1～12/16)

単位：60kg 袋

	<u>週間</u>	<u>合計</u>
バイア州	71,739	2,241,823
その他の州	12,180	842,817
他国（輸入）	0	284,599
Total（袋数）	83,919	3,369,239
Total（トン）	5,035	202,154

ブラジル 2011/12 シーズン 着荷数量 (5/1～12/16)

単位：60kg 袋

	週間	合計
バリア州	64,949	1,781,377
その他の州	10,173	574,033
他国（輸入）	0	232,223
合計（袋数）	75,122	2,587,633
合計（トン）	4,507	155,258

6、ブラジルの11月度国内磨砕数量は20,510トンで前年並み(12/19)

ブラジルでの11月度のカカオ磨砕数量は合計で20,510トンとなり、前年同月とほぼ同じ数量であったことが業界のデータにて判明した。

ブラジルは現在世界第6位のカカオ生産国であるが、国内消費も大きく、海外からのカカオ豆の輸入も行っている。

2011年11月～2012年11月の各月のカカオ磨砕数量

	トン	袋数 (60kg/袋)
NOV '12	20,510	341,829
OCT '12	21,340	355,672
SEP '12	20,226	337,104
AUG '12	21,892	364,869
JUL '12	20,858	347,626
JUN '12	19,136	318,933
MAY '12	18,556	309,273
APR '12	20,009	333,487
MAR '12	20,269	337,818
FEB '12	19,396	323,265
JAN '12	20,810	346,839
DEC '11	20,489	341,485
NOV '11	20,442	340,695

関連産業ニュース) 製糖業界

三井物産と三井製糖、タイ製糖コンブリに計16%出資＝アジアで販売拡大へ

三井物産と三井製糖は18日、タイの中堅製糖会社「コンブリシュガーパブリックカンパニー」（バンコク）と提携したと発表した。来年3月にコンブリが実施する第三者割当増資を引き受けるとともに、新株予約権を取得。三井物産がコンブリ株の11.1%を約19億9000万円で、三井製糖が同5.6%を約10億円で取得する予定で、3社は今後、需要増が期待されるアジア市場での販売拡大を狙う。

コンブリはタイ東北部に製造拠点をもち、サトウキビから年間25万～30万トンの砂糖を生産。同国の食品メーカーなどに販売しているほか、絞りかすを燃料とする発電事業にも取り組んでいる。砂糖は新興国需要などを背景に世界で需給が逼迫（ひっばく）しているが、タイはブラジルに次ぐ輸出余力を持つ生産国とされる。三井物産などは同国で有力製糖企業への出資を通じ、これまで約50年間、事業ノウハウを蓄積してきたという。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp